



庄内保健所へ感謝と応援メッセージ贈呈
鶴岡市立庄内看護専門学校の学生から
心温まるメッセーをいただきました。

目次

TOP ▶ P1
庄内総合支庁長新年度あいさつ
庄内地域農林水産業若者賞

特集 ▶ P2~P5
令和4年度 各部の取組み
総務企画部・保健福祉環境部
産業経済部・建設部

お知らせ ▶ P6
自宅の敷地で子猫が生まれたら
山火事予防運動実施
不法投棄監視等強化月間
住宅支援制度
庄内空港ファンクラブ会員募集中



令和4年

4 月号

(偶数月に発行します)

庄内

山形県庄内総合支庁広報誌 総合支庁ニュース



新年度あいさつ 庄内総合支庁長 高橋 正美



新年度にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

私たちの生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症については、さらに感染力が強いとされる「BA.2」系統への置き換わりが進んでいます。新年度を迎え、人の移動や交流の機会が増えていることから、県民の皆様には、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

県民の皆様への命と生活を守るため、引き続き、庄内保健所・市町・病院・医師会・薬剤師会等と連携・協力して医療提供体制等を整備するとともに、地域経済の回復・再生に向けた取組みをしっかりと進めてまいります。

また、第4次山形県総合発展計画がスタートして3年目、実施計画は中間年を迎えました。庄内地域の「目指す姿」の実現に向けて、最重要課題である「若者の地元定着や回帰の促進」、「庄内地域発のイノベーションの促進」、「『食』を基軸とする多様な交流の拡大」、「格子状高速交通網の整備促進」などの様々な課題に、市町、関係団体や地域の皆様と連携しながら全力で取り組んでまいりますので、よろしくをお願いします。



「庄内地域農林水産業若者賞」2名を表彰

～令和3年度受賞者～



五十嵐隆幸さん
(鶴岡市・農業)
農福連携の推進、
若手農業者ネットワークの設立



佐藤豪さん
(酒田市・農業)
農産物直売所の商品確保、
西洋野菜の特産化

3月16日、「庄内地域農林水産業若者賞」の表彰式を行いました。この賞は、農林水産業の振興や人材育成を目的に、農林水産業で活躍している若手の皆さんを表彰するもので、平成24年から毎年、各地域の総合支庁で実施しています。



令和3年度、庄内地域では2名が受賞され、高橋庄内総合支庁長が表彰状を授与しました。

地域産業経済課 ☎ 0235-66-5490

令和4年度 各部の取組み

総務企画部

総務企画部長 貝沼 浩則



庄内は豊かな自然や食に恵まれた魅力あふれるところです。若者には定着していただける、出身者には戻っていただける、そして県外の方々には移住していただける事業に取り組みます。地域と一緒に考えてながら新年度事業を進めていければと思います。

○主な取組み

- 1 次世代を担う若者の地元定着促進に向けた取組みを強化するため、高校生を対象に、庄内地域で活躍する若者と共に「若者『庄』学校」ワークショップの開催などをさらに充実していきます。
- 2 地域を挙げたふるさと回帰促進に向けた取組みを加速するため、庄内地域への転入超過の実態分析、UIターン促進に向けたオンライン交流会の開催及びSNSによる情報発信を強化していきます。

若者地元魅力発見促進事業

この事業は、若者定着・回帰の土台となる郷土愛の醸成を図ることを目的としています。

事業初年度の令和3年度は、管内の高校9校の2年生25名が参加し、庄内地域で活躍する若者と共に郷土について考え、交流するワークショップ・フィールドワーク・発表会を開催しました。

令和4年度は、引き続き若者「庄」学校ワークショップを開催し、新たに発表会の準備を通じた地域の若者との継

続した交流を図ります。ワークショップの具体的な内容は、事業効果がより高まるよう、事業者に企画提案を募り決定します。

加えて、地域が一体となって取組みを進めるため、地域のキーパーソンを集めた学習会を新たに計画しています。

より良い事業となるよう、市町、学校関係者と連携して事業を実施します。

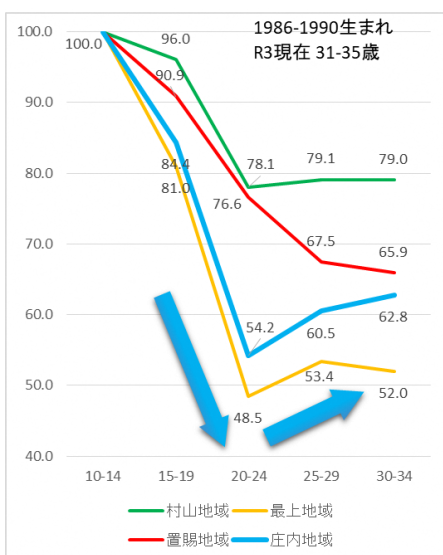
総務課 ☎ 0235-66-5417



酒田飽海地区ワークショップ（ミライニ）



鶴岡田川地区フィールドワーク（温海温泉）



出所：国勢調査（総務省）

庄内地域転入者数アップ促進事業

庄内地域は、15-24歳が大幅な転出超過（転入<転出）である一方、25-34歳は転入超過（転入>転出）が10年以上続く地域です。令和4年度は、昨年度に引続き、東北公益文科大学と協力し、人口統計等による転出・転入超過の実態分析と、転入者へのアンケート調査を行い、転入者、特に移住者（転入者のうち、転勤、就学が理由の転入を除いた者）の傾向を探り、その結果を今後の移住施策に展開します。

また、昨年度実施したオンライン移住セミナーでは、参加者の多くが、「減収して暮らしに余裕がなくなるのでは？」、「自分の希望するキャリアを目指せるか？」と悩んでいました。令和4年度は、それぞれのテーマで、庄内地域で活躍しイキイキと暮らす移住者をゲストに、移住検討者とのオンライン交流会を開催します。

連携支援室 ☎ 0235-66-5446

保健福祉環境部

保健福祉環境部長 渡辺 亘



人生100年時代を迎え、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現と結婚支援・子育て支援に取り組みます！



医療監(兼)庄内保健所長 蘆野 吉和

保健所の業務の内容は人々の健康に関することであり、多岐(対人保健、対物保健、医療、福祉)にわたります。本来地味な活動ですが、新型コロナウイルス感染症発生により、この対応の前線に立たされました。とはいえ、実態として、保健所内・総合支庁内の各部署、市町、医療機関(病院、医師会等)との連携で善戦しています。

○主な取組み

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の充実強化を図ります。
- 2 高齢者の体や心の働きの低下(フレイル)を予防し、社会的つながりを保てるよう、在宅療養者の食を支援します。
- 3 再生可能エネルギーを活用した地域経済の活性化や、地域資源活用によるエネルギーの地産地消の促進に取り組みます。



在宅における食支援連携促進事業



食支援の様子

令和4年度の事業として、「在宅における食支援連携促進事業」を実施します。

加齢により体や心の働きの、社会的つながりが弱くなった状態を「フレイル」といいますが、年々高齢化率が上昇している中、高齢者にとってこの「フレイル」の予防が健康上の重要な課題となっています。

そこで高齢者がフレイルを予防し、いつまでも美味しく口から食べるこ

ができるよう、食支援について理解を深めるための研修会を開催します。

また、令和3年度に実施した在宅高齢者の食支援におけるニーズや課題を把握するためのアンケート調査結果を基に意見交換会を開催し、多職種・多業種で連携しながら、庄内地域の食支援を進める環境づくりを推進していきます。

保健企画課 ☎ 0235-66-5476



再生可能エネルギーの地産地消

地域資源を活用して生み出した再生可能エネルギーを地域で使うことは、再生可能エネルギーの「地産地消」であり、それまで地域外に流出していたエネルギー支出を地域内で循環させることで、地域経済への好循環が期待されます。

また、地域の特徴も踏まえた多様な供給力を組み合わせることで最適に活用することは、災害時のエネルギー供給のリスク分散にも資すると考え

られています。

再生可能エネルギーの導入拡大を進めていくためには、電源や熱源の開発だけでなく、その消費も併せて進めていく必要があります。エネルギーの地産地消の重要性はますます高まってくることから、庄内地域エネルギー戦略推進協議会では、「再生可能エネルギーの地産地消」をテーマとしたセミナーを開催します。



環境課 0235-66-4744

令和4年度 各部の取組み

産業経済部

産業経済部長 武田 広幸



コロナ禍の影響を受けた地域経済の回復に向け、産業界の皆様の声をお聞きし、実効性のある施策を実施するとともに、地域課題である若者の地元就職、地元定着に、関係者一丸となって取り組んでいきます。加えて、農林水産業の振興や就業者育成・確保にしっかりと取り組みながら、庄内地域の強みである食のブランドや精神文化、温泉、自然など、庄内の魅力あふれる資源をまるごと、県内外、海外に発信していきます。

○主な取組み

- 1 観光需要回復のため、マイクロツーリズムなど新たな旅行スタイルに対応した事業に取り組めます。
- 2 これまでの取組みに加え、職業体験会「WAKU WAKU WORK」の中学校での開催を大幅に拡大します。
- 3 「食の都庄内」のブランド定着・普及を一層推進するため、SNSを活用した情報発信を強化するとともに、農畜産物の産地づくりや新規漁業就業者の確保・育成に取り組めます。



WAKU WAKU WORK開催



新たな旅行スタイルに対応

昨年度は、地域の周遊を促す「庄内まちナビカード」「とくとくパス(電子チケット)」、「プロジェクションマッピング 雪の庭園と灯り」など、コロナ禍の中、様々な初の事業に挑戦しました。

今年度は、それらの取組みを拡大しながら、「庄内の魅力満喫デジタルスタンプラリー」、「高校生による庄内三十三観音魅力新発見事業」、「登山ユーチューバーによる動画配信」など、さらに新たな取組みにより、庄内の魅力を発信していきます。

観光振興室 ☎ 0235-66-2126

庄内地域への若者定着促進のため、高校生と地元企業との交流事業や県外大学等進学者への地元就職情報の提供、庄内就職説明会の開催等を行っています。

今年度は、主に高校で実施していた職業体験会「WAKU WAKU WORK」について、より早い段階から地元企業の魅力を知ってもらうため、中学校での開催を大幅に拡大して実施します。

地域産業経済課 ☎ 0235-66-5484

庄内の食の魅力をSNSで情報発信



「食の都庄内」YouTubeチャンネルで
交流会の様態を公開中！

昨年度は、SNSを活用した情報発信に力を入れました。3月には、「食の都庄内」交流会をYouTube生配信により開催したところです。

今年度は、紹介する食材品目を増やしてInstagramアンバサダーによる発信をするほか、庄内の食の魅力をSNSで発信していただいた方へのプレゼントキャンペーンの実施、生産者の想いを伝えるYouTube動画の制作など、引き続きSNSを活用して情報発信します。

この他、小学生や大学生など若い世代に向け、庄内の食の魅力を伝える事業を展開していきます。

地域産業経済課 ☎ 0235-66-4723
農業振興課 ☎ 0235-66-5519

建設部

建設部長 渡辺 満



令和4年度における建設部の事業としては、高速道路・高規格道路の整備促進のためのセミナー開催や防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策などの社会資本の整備を進めます。

また、庄内を支える建設業への若者就業促進事業等の建設業に従事する人材の確保を目指します。

○主な取組み

- 1 高速道路・高規格道路のミッシングリンク解消に向けた整備を促進します。
- 2 防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策を中心とした道路の改築、長寿命化対策及び河川の整備を行います。
- 3 流下能力向上・持続化対策計画に基づいた河道掘削や支障木の撤去を行います。
- 4 庄内を支える建設業への若者就業促進事業や、除雪オペレータ担い手確保支援事業等による建設業に従事する人材の確保に取り組みます。

都市計画道路 藤島駅笹花線 新町橋歩道橋 完成が間近か

都市計画道路藤島駅笹花(ささばな)線は、JR藤島駅から公共施設が集約している笹花地区を結ぶ、藤島地区の中心となる主要な幹線道路です。

周辺の公共施設は、藤島小学校、藤島中学校、庄内農業高等学校といった教育施設や鶴岡市の藤島庁舎、藤島城址など、教育、行政、文化施設があります。

また、当該道路については、藤島小学校指定の通学路であるとともに、各学校の通学路になっています。

しかし、この道路には、歩道がなく、地元からの強い要望により、安全で安心な空間が必要であることから、街路整備事業において、歩道設置工事を平成23年から着手しました。

このたび、事業区間のメインとなる、藤島川にかかる『新町橋歩道橋』が、5月末に完成します。

この新町橋歩道橋が完成することにより、JR藤島駅から直線的に歩道が結ばれ、歩道の利用者が安全に通行できるようになります。

道路計画課 ☎ 0235-66-5646



完成間近の新町橋歩道橋



安全な歩道を設置



従来の巻き上げ式樋門



自動で開閉する構造のフラップゲート

樋門のフラップゲート化について

山形県が庄内総合支庁管内で管理している樋門は484基あり、その多くが、樋門操作員による操作を必要とする巻き上げ式の樋門になっています。

近年、記録的・突発的な集中豪雨が多発する中、河川の水位上昇時には確実な樋門操作が求められていることや、操作員の高齢化等により人員確保が困難となっていることから、山形県では従来の巻き上げ式樋門から、水位に応じて自動で開閉す

る構造のフラップゲートへの更新工事が進められています。

今年度庄内総合支庁管内では、3基の樋門をフラップゲート化しており、来年度以降も随時工事を進めていく予定です。

今後とも、県民の皆様が安全・安心に生活できるよう、樋門の適正な維持管理に努めてまいります。

河川砂防課 ☎ 0235-66-5627

自宅の敷地内で 子猫が生まれたのを見つけたら

毎年春になると「自宅の車庫や蔵で子猫が産まれた」という相談が寄せられます。飼うつもりがなければ、まずは母猫に子猫を連れて移動してもらうための行動を試してみてください。

人の匂いが付かないよう手袋をし、車庫等の外の安全な場所に子猫をそっと移してください。その際は子猫の体力が消耗しないよう天気の良い日に行ってください。こうすることで母猫が子猫を別の場所へ連れて行くことがあります。



生活衛生課 ☎0235-66-5663

山火事予防運動実施！

春は乾燥しやすく、風が強く吹くことが多いため、山火事が発生しやすい時期です。

このため、県では4月・5月を山火事予防運動期間として、山火事予防対策に取り組んでいます。

燃えやすいものがある場所ではたき火をしない。たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。などに注意してください。

森林整備課 ☎ 0235-66-5529



不法投棄防止で美しい庄内を



漂着ごみの状況

5月は「不法投棄監視及び海岸漂着ごみ削減強化月間」です。

道ばたや野山に捨てられたごみは、美しい庄内の景観を壊

します。また、最終的に海に流れ着き、海岸も汚れてしまいます。ごみは、出した人が責任を持ってかたづけましょう。美しい庄内をいつまでも守り続けること、これは私たちの義務です。

環境課 ☎ 0235-66-4914

令和4年度の住宅支援制度について

県では、住宅新築又は中古住宅購入の際に、住宅ローンの利子の一部を支援する事業(利子補給)を実施し、県産木材利用促進、耐久性・省エネに優れた住宅建設の促進、良質な中古住宅の取得を応援しています。

★詳細は、山形県住宅情報総合サイト「タテッカーナ」をご確認ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/>



建築課 ☎ 0235-66-5639

おいしい庄内空港ファンクラブ会員募集中

昨年、平成3年の開港から30年目を迎えた「おいしい庄内空港」。30周年を記念して、庄内空港を利用される皆さんに親しみを持っていただき、楽しく利用していただくため、今年2月、「LINE」上に「おいしい庄内空港ファンクラブ」を開設し、1,200名を超える皆様から登録いただいています。



ファンクラブに入会いただくと、空港内の飲食店やお土産物店で利用できるクーポンや空港ラウンジの無料券など空港内で使える特典のほか、庄内地域の飲食店での料金割引や一品サービスなど、さまざまな会員特典を受けることができます。

登録は無料、「LINE」で「おいしい庄内空港ファンクラブ」を友だちに追加するだけと簡単です。多くの皆さんの会員登録と、ご利用をお待ちしております。

連携支援室 ☎ 0235-66-5440

発行／山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課 総合案内窓口

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 TEL:0235(66)5598 FAX:0235(66)2835

